

プレメディカル®東京
2014年学校案内

PREMEDICAL® TOKYO

School Information 2014



PREMEDICAL®
TOKYO

医学部進学
専門校 プレメディカル®東京

®PREMEDICAL／プレメディカルは当校の登録商標です

医の心を学び、医師への道を拓く。

より良い医師の育成と確実な医療承継の実現に向けて——
プレメディカル®東京は、
医療界27年の実績を誇るJMSの医学部進学専門校です。



Message

学長挨拶

全人的基礎教育完了の大学卒業後に丸4年通う欧米などの医科大学と異なり、日本の医学部は高校卒業後6年という短期間です。現在、日本の医学教育のカリキュラムは、いわゆる一般教養・基礎医学・臨床医学・臨床実習です。医学生は5年次の臨床実習に入る前に、実技臨床試験（共用試験）を受け、臨床実習を受けるのに相応しい医学知識と客観的技能評価が測られます。

この6年間のカリキュラムを経て卒業試験を受け、卒業後に医師国家試験を受けます。しかし、このカリキュラムの流れの中では、在学中の大半を臨床医学に重点を置く余り、一般教養は1年、基礎医学は1年と著しく短縮され、特に医師として正しい医療を行える全人的教育および基礎科学教育が不足していると指摘されています。

医師にとって大切な、豊かな「医の心」を育む医療倫理、安全医療、医療過誤防止にもつながる医療情報伝達法や医療概論を通し、他の医療従事者との理解と協調等を教育する機会は少ないのです。

一方、医師は安定的職種のため入学試験の競争率は年々増加し、高倍率化しています。そして入試時には英語、数学、化学、生物、物理についての高度な知識を入学後の教育不足を補うためとして要求されているので、受験生はこれらの基礎教育の実力強化が肝要であります。

本校では更に「良い医療」を行う医師になるための「医の心」については特別の指導を行い、将来国民が医療を安心して託せる医師として適格である人物を養成する方針です。



学長 廣瀬 輝夫
日本医療経営学会理事長
元ニューヨーク医科大学外科教授

廣瀬輝夫学長プロフィール

千葉大学医学部卒業
心臓外科研究のため渡米
世界初の無血人工心肺（1966年）などの新技術を開発
＊手術症例は、一般・胸部・心臓および血管外科を含め、約30,000例を施行。そのうち開心術約7,000例
＊医療制度、医療倫理、医学教育など幅広い分野にわたる英文・邦文の著書多数。

CONTENTS

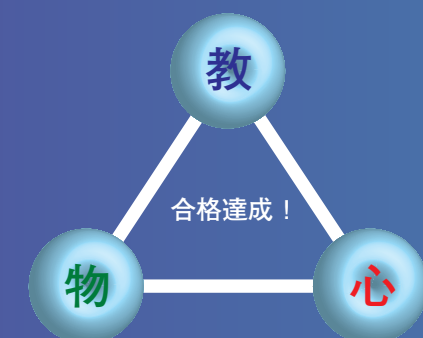
プレメディカル東京の特色	3
コース案内	8
科目・講師陣紹介	12
オリジナルテキスト&各種テスト	19
カリキュラム	20
入学までの流れと年間スケジュール	22
合格体験記	23
募集要項	24
提携寮	25
アクセス	26
建学理念・経営母体	28
理事長挨拶・発起人	29



プレメディカル®東京の特色



プレメディカル東京では、生徒のみなさんが医学部合格に向けて高いモチベーションを保持しながら受験生活を送っていけるよう、恵まれた環境・設備を提供するとともに、心のこもった生徒指導を行っています。医学部受験という難関を突破するためには、成績はもとより本番で実力を発揮するための「強い精神」と「安定した心」が問われるからです。もちろん、医学部進学に特化した独自の教育システムも用意しています。この教育システムに基づき編成された生徒本意のカリキュラムと、医学部入試に精通したベテラン講師による指導、さらには当校だけが提供できる独自の2次対策が、生徒のみなさんを確実に合格の道へと誘います。



1 受験生活をサポートする恵まれた環境・設備

2 心のこもった生徒指導と丁寧な保護者対応

3 医学部受験に特化した独自の教育システム

1. 受験生活をサポートする 恵まれた環境・設備

1. 恵まれたアクセス・環境

プレメディカル東京の校舎は都心の閑静な文教地区に位置（芝公園に隣接）し、地下鉄大江戸線・赤羽橋駅の真上にある、通学には大変便利です。ビル1Fにはコンビニがあります。

2. 安心できる学習環境

セキュリティの行き届いた清潔な教室と設備で、学習に集中できる環境を提供しております。また、生徒にそれぞれ専用のロッカーと自習ブースを貸与。授業のある日はもちろん、無い時もフルに活用できる自習室は、月～土曜の午後9時まで開放しています。充実した参考書・医学部受験情報誌や各医大（医学部）情報、医学・医療関連の最新メディカル・トピックスの掲示などを通して、日頃から医学に関する知識を蓄える機会を作ります。コピー機も自由に利用可能です。*土曜は原則7時30分までとなります。

3. 提携寮の完備

生徒は全国から来ていますので、遠方の方には安心できる提携学生寮をご紹介します。

※「提携寮」（25ページ）を参照してください。



大江戸線・赤羽橋駅の真上にある校舎



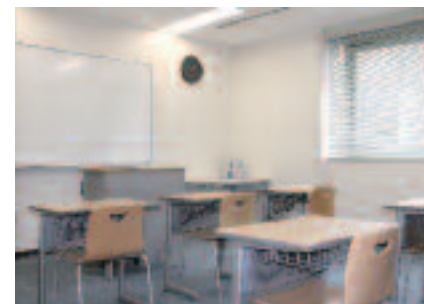
開放感ある校内



個別に用意された照明付き自習ブース



一人ひとりに用意された専用ロッカー



集中できるクリーンで明るい教室



充実した赤本・参考書も貸し出ししています



コピー機は無料で使用できます



生徒用PCも完備

2. 心のこもった生徒指導と 丁寧な保護者対応

1. 生活指導

生徒は登下校時にタイムカードを打刻し、事前連絡の無い欠席者には、スタッフがすぐに連絡いたします。出席し続ける意欲と努力が合格へ繋がることを自覚してもらいます。

また、受験勉強中は気分が落ち込むこともありますので、専門のカウンセラーが親身に相談に乗り、不安と悩みを解消します。少人数制のためスタッフ・講師とも気軽にコミュニケーションを取ることができます。

全生徒に無料の毎夕食サービス（月～土）を実施、また、常時おやつや飲み物の用意もごさいます。

2. 不得意科目の分析と志望校アドバイス

医学部受験では、どの科目も高得点が必要です。校内・外部の各種テストの結果を基に、不得意科目を無くすための効果的な学習法を生徒の個性に合わせて割り出して行きます。そのためにも、随時面接を行いアドバイスする機会を設けます。

後期は、具体的な志望校別の授業を適宜行います。当校は菊医会/JMSを通して日ごろから各大学と交流があるため、医大の最新情報を生徒にフィードバックすることが可能です。

3. 午後9時まで講師が学習相談

曜日ごとに各科目の講師が午後9時まで常駐し、生徒の質問や相談に乗ります。

4. 保護者との密な連絡

保護者へは年4回、出席状況・各種テストの成績・学習に取り組む姿勢・生活状況などのレポートを郵送いたします。また、定期的に保護者面談も実施しています。



タイムカードで出欠席をチェック



夕食のお弁当は無料サービス



ウォーターサーバーとジュースなど



講師とも気軽に相談

3. 医学部受験に特化した独自の教育システム

1. 1クラス6名以下の個別型クラス授業

クラス授業は、高卒生・高校生各コースとも1クラス6名以下で、学力テスト実施の上編成されます。当校はこの人数が、生徒一人ひとりの個性、プライドを大切にしながら指導をしていけるベストな人数だと考えています。講師が生徒の理解度を確認しつつ授業を展開することで、高密度なコミュニケーションが構築され、また、実力が拮抗した仲間同士が「切磋琢磨」しながら、実力を高めていくことが可能です。

2. 個別指導で弱点を克服

高校生、高卒生、社会人（大学卒業生など）の全生徒を対象とする個別指導では、生徒と講師の1対1による1コマ・80分の個別指導を行います。不得意・弱点科目の克服、得意科目の一層の強化を目的として、担当講師と相談しながらレベルアップに向けた授業の進め方を決定します。個別指導は基本的に生徒に合わせた時間・希望する科目コマ数を自由に設定でき、スタートも年間を通じて随時可能です。

3. 医学部入試に精通した講師陣

指導する講師は、講師である以前に教育者（人格者）である事を自覚し、長年医学部受験の第一線で指導してきたベテランです。また「赤本」や参考書にある解説の執筆や、独自にテキストを出版しており、教壇以外でも受験に向けた様々な活躍をしています。「合格への近道」を把握している講師陣や教務スタッフが、最新情報・入試傾向分析に基づき国公立・私立医大ともに、受験生の合格へ向け万全の体制でバックアップいたします。



医学部進学コース



現役進学コース



編入学コース



個別指導コース

4. 医大教授によるガイダンス

当校では、随時、医大教授を招聘し、講演会を開催しております。受験生に医学部の現状を知ってもらう機会を設けることで、医師になるための志を再確認すると同時に、受験のモチベーションを高めることを狙いとしています。

5. 学長による「医の心」の指導と独自の2次対策

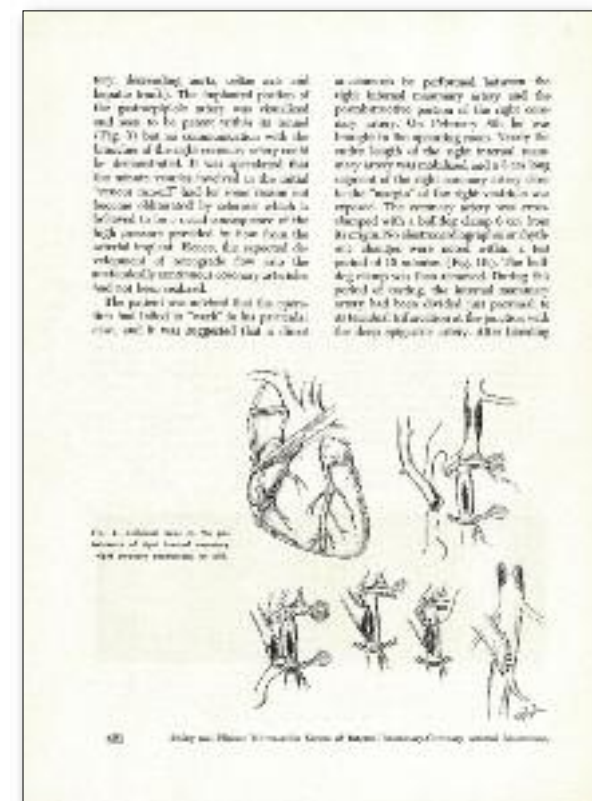
当校学長は世界的に有名な心臓外科医の廣瀬輝夫医学博士です。医学教育にも造詣が深い廣瀬学長が行う年2回の特別講演会で提供される最新の医療倫理・医療概論すなわち「医の心」の指導は、医学生に不可欠な適性を磨くことを狙いとしています。さらに講演会で取り上げられる内容は、小論文や2次面接の対策にも役立つものです。父兄も参加できるこの講演会は、毎回好評をいただいております。



医大教授によるガイダンス



廣瀬学長の著書の一部



医学部進学専門校プレメディカル東京の2012年度開講式で、「医大・医学部が求める医学生とは？」について講話する学長と理事長

廣瀬学長の論文を掲載した「INTERNATIONAL SURGERY」(Vol.49, No.5, May, 1968)。40年以上前に学長が世界で最初に実施した内胸動脈冠動脈直接吻合術は、開心術とともに現在、復活して使用されている

コース案内



医学部進学専門校プレメディカル東京では、一人ひとりの個性とプライドを大切にし、少人数形式と効果的な指導法の下で、多くの生徒を合格に導いてきました。当校は医大・医学部に一番近い予備校であることから、2次試験対策においても十分な実績を持っています。

■医学部進学コース（本科生）

■現役進学コース（現役生）

■編入学コース（大学生・大卒者・社会人）

■個別指導コース（全生徒）

Courses

医学部進学コース（本科生）

基礎力の再構築から医学部合格をめざした実戦力の養成

本科生コースは、基礎学力充実、応用力養成、入試実戦力養成と三段階のステップにより、医学部合格に必要な学力を養成します。4月から9月にかけては医学部受験に不可欠な基礎学力の充実をめざし、10・11月には応用力の養成、12・1月には直前講習と志望校別必勝対策講座で、合格へ向けた万全の備えを固めます。

♣国公立・難関私立医大（医学部）コース（KSクラス）

選抜KSクラスは、国公立大学医学部、難関私立医大をめざすハイレベルなクラスです。とはいえ、まずは基礎力を再構築し、その上で高度な記述・論述問題への対応を図ります。医学部受験事情に精通した講師が、段階的に難関・最難関大学の入試傾向に沿った内容の個別型授業を行います。授業にウェイトを置きながら、演習形式をも採用することで、医学部合格を果たすための実戦力を、早い段階から養成します。

※入学時、選抜試験に合格する必要があります。

♣私立医大（医学部）コース（SSクラス）

SSクラスは、中堅私立医大をめざすクラスです。授業は、個々の生徒のレベルに合わせてながら、コミュニケーションを重視した対話形式にて展開されます。したがって、授業中であっても理解できない箇所はその場で講師に質問し、疑問点を解消することが可能です。基礎から丁寧な指導を受けることで、医学部受験に必須な知識を着実なものとしながら、医学部合格へ向け自信を深めます。

●いずれも1クラスの定員が6名以下に限定されている完全少人数制のクラスです。

●講師や教務スタッフとの気軽な対話を通して、医学部受験をする上での心構えや自己に足りないものを「自発的に」補えるよう、人格の陶冶もめざします。

	月	火	水	木	金	土	日
09:00～09:10		2次対策を目的とした朝学習					模試等
09:10～10:30	数学ⅢC	英文解釈	数学ⅠA	医系英語	化学	国語	
10:40～12:00	数学ⅢC	英文解釈	数学ⅠA	医系英語	化学	小論文	
12:00～13:00	休憩／昼食						
13:00～14:20	英文法	化学	生物／物理	数学ⅡB	生物／物理	2週間に 1度のテスト	
14:30～15:50	英文法	化学	生物／物理	数学ⅡB	生物／物理		
16:10～16:40	医療トピックス テスト	個別指導／自習		英単・熟語 テスト	個別指導 ／自習	自習	
16:40～20:50	自習			自習			
20:50～22:00	自習／質問時間						

*カリキュラムはモデルパターンです。

現役進学コース（現役生）

最短距離の医学部合格をめざした無駄のないカリキュラム

現役生コースでは、医学部現役合格に必要なエッセンスを効率よく学べるよう、精選されたカリキュラムが組まれています。学校との両立という限られた時間の中で、受験生が合格を手にするためには、要領の良さが問われるからです。まず基礎固めを徹底させ、段階的に受験即応型の授業に移行することで、応用・実戦力を短期間で伸ばします。

♣国公立・難関私立医大(医学部)コース（KSクラス）

選抜KSクラスは、国公立大学医学部、難関私立医大をめざすハイレベルなクラスです。基礎力があることを前提に、新出事項の理解に努めながら、より高度な記述・論述問題に対応していきます。授業は演習形式でありながら、講師は常に生徒の理解度を確かめつつ、一人ひとりにあった勉強法を伝授します。最難関の大学の傾向に沿った内容にも触れることで、実戦力も培います。

※入学時、選抜試験に合格する必要があります。

♣私立医大(医学部)コース（SSクラス）

SSクラスは、中堅私立医大を目指すクラスです。現役生の場合、基礎が抜け落ちているケースが多いため、まずは盤石な基礎力を固めると同時に、高校で学ぶことのない医学部受験に必須の知識を一から身に付けます。授業は対話形式で展開されるため、生徒は疑問点をすぐに講師に投げかけ、回答やヒントを得ることができます。医学部受験に必要な内容を、基礎から丁寧に指導する講師の下で、自信を高めながら医学部合格へのステップを踏んでいきます。

●いずれも1クラスの定員が6名以下に限定されている完全少人数制のクラスです。

●講師や教務スタッフとの気軽な対話を通して、医学部受験をする上での心構えや自己に足りないものを「自発的に」補えるよう、人格の陶冶もめざします。

	月	火	水	木	金	土	日
18:00～19:20	数学ⅠA	英語	生物／物理	化学	数学ⅢC	小論文 (国語) (社会)	個別指導 自習
19:30～20:50	数学ⅡB	英語	生物／物理	化学	数学ⅢC		
21:00～21:20	自習／質問時間					個別指導 自習 —昼夜間—	—昼夜間—
21:20～22:00							

*カリキュラムはモデルパターンです。

編入学コース

♣群馬大学・国公立医学部コース

他学部に進学、または卒業された方で、再度医師への道を志す方のためのコースです。医学部の編入学は、一般入試と比べて勝るとも劣らない厳しい受験と言われています。プレメディカル東京では、大学生(2年修了以上)・大卒者・社会人の方を対象に、一人ひとりに合った完全個別カリキュラムを編成し、文系出身の方でもこの難関を突破できるよう支援します。志望校別に受講科目数・学習スタイルなどご相談に応じると同時に、親身になってアドバイスし、目標達成をバックアップします。

♣東海大学医学部コース

近年人気の東海大学の編入学対策に特化した究極のコースです。対象者は大学生(2年修了以上)・大学卒・社会人です。9月受験までに、英語と適性試験、個人面接・グループ討論対策特別カリキュラムなどを用意しています。個別、またはレベルによってクラス授業となります。また、大学医学部教授など関係者によるオリエンテーションを適宜開催することで、受験ガイドでは知り得ないホットな情報に接することが可能です。

個別指導コース

個別指導では、1コマ80分を2コマ単位で効率よく集中して学習し、弱点補強や得意科目の強化などに大きな成果を実現します。実力を高めるために、短期間のスポット的な受講スタイルを取ることも可能です。担当講師は、クラス授業も担当している医学部受験に精通したプレメディカル東京自慢のプロ講師の先生方です。随時スタートが可能で、一貫校の中3生から社会人の方々までを対象とし、全科目、一般入試・編入学等、個々の目的に合わせて最小の時間で最大の効果をあげられるよう、オーダーメイド形式でカリキュラムを設定します。

※全生徒対象です。

編入合格者の声 獨協医科大学合格・Kさん

プレメディカル東京には、一般入試の指導はもちろん、編入学に対応する専門知識と経験が豊富な講師が揃っていました。小論文や面接対策も丁寧に指導して頂きとても参考になりました。編入学は一般入試よりも面接や小論文が重視されます。また、英語の筆記試験も生命科学の知識が要求されます。私はクラス授業ではなく、個別指導コースで物理・化学・生物・英語を丁寧に教えて頂き、とても充実した受験生活を送ることができました。もう大学生だからとか、社会人だからと医学部入学を諦めている人には、一度プレメディカル東京に来て、色々な入試形態があることを知って頂きたいです。そして、自分に合う入試形態と先生を探してみてください。一般、推薦、編入学、そしてAO。医学部合格への道は一つではなく、あなたのやる気次第で夢は必ず叶うと思います。

Voice

科目・講師陣紹介



プレメディカル東京の講師は、長年医学部受験の第一線で指導してきた、合格実績豊富なベテラン講師です。当校の指導理念である「医の心」に深い理解と共感を示し、一人でも多くの「医の心」を携えた医師を世に輩出すべく、厳しくとも心のこもった受験指導を行っています。医学部合格へ向けた最短かつ最高の授業をお約束します。



Subject & Lecturer

英語

English



英語科主任講師

今村 尚

早稲田大学第一文学部卒業

1) 医学部入試問題における「英語」の傾向

医学部入試問題は、全般的には読解重視の傾向にあります。国立の単科大や私大の東邦大、獨協医大、杏林大など、医療系の内容が出題される大学も一部ありますが、一般的な医療用語を押さえ、論理の展開を理解できれば設問には十分迫ることができます。

私大の中には、国立大2次試験と同様、慶應大、大阪医大、藤田保健衛生大、聖マリアンナ医大など記述式の問題を出題する大学もありますが、問われている箇所を英文から見つけて和訳したり、指示に応じてまとめる形で正答を得られる内容で、練習を積みれば必ず習得できます。2013年は、日本医大、昭和大などで大問数の変化や、問題内容や形式の若干の変更が見受けられましたが、その他の大学では、問題傾向の大きな変化は見られず、語彙を含めて多岐多様な長文や文法問題に対応できる英文の処理能力が何よりも問われています。とりわけ、英作文の対策は長期的に十分練習を積む必要があり、自由英作文の順天堂大や、和文英訳の大阪医大、東海大、岩手医大、聖マリアンナ医大、また、図表を素材として記述をさせる大学もあります。いずれも単語・熟語や文法・構文力に加え、定型文、決まり文句の暗記や英文の構成力など、英作文の対策には英語の総合力が必要と言えるでしょう。

総じて、合格ラインに達するレベルの実力を身に付けるには、地道な知識の蓄積が必要不可欠で、その知識を組み合わせたり、発展させてこそ、医学部入試問題の正答への糸口を見つけることが可能となります。

2) プレメディカル東京における「英語」の指導

①国公立大医学部及び難関私立医大

内容要約や下線部訳などの記述式問題や、自由英作文を中心とする、難度の高い問題に柔軟に対応できるようにするため、前期7月末までに、単熟語・文法・構文の知識分野の定着を図り、夏以降は、暗記事項の確認や、入試問題に十分対応できる実戦力を養うことに重点を置きます。授業は「英文法」「英文解釈」「医系英語」の3つを柱に、①各授業の復習チェックテスト②毎週の単語・熟語テスト（後期には医系英語も含む）③単元別の習熟度テスト④個別対応の弱点補強などを中心にきめ細かな指導に、フォロー体制も整った万全のシステムで対応致します。

②中堅私立医大

志望校を絞り込みすぎること、偏った狭い勉強になることを避けるため、受験の英語に必須の文法・解釈の知識をもれなく、幅広く習得し、基礎学力の定着を図ることが前期の最大目標です。特に英語を苦手とする受験生には、基本的学習習慣そのものが欠けてしまっていることも多々あり、その徹底にも本校システムは効果を上げます。授業やバックアップのシステムは、国公立大・難関私立大と変わりません。後期により実戦力を磨くためには、前期に培った学習習慣や知識供給を土台に、問題演習や過去問対策を手厚く加えながら、志望校へのラインへと導きます。

数 学

Mathematics

1) 医学部入試問題における「数学」の傾向

医学部入試の数学は、当然のことながら大学によって異なります。例えば、北里大では行列、順天堂大学では根本原理に関する記述問題が頻出する等です。国公立大学では、浜松医大の医学に関連付けた長文の考察問題がありますが、一方で新潟大などオーソドックスな出題をしている大学も多くあります。

全体的には微積分の比重が高く、また、多くの受験生が苦手な「不等式をつくって極限を求める」問題も国公立医学部ではよく出題されています。私立医学部では関数の増減や最大・最小が他単元とも絡めてよく出題されます。2012兵庫医科大では、「三角関数」・「解と係数の関係」との融合が見られました。

「各大学の個々の傾向に対応する」、「どの大学でも必要な大本となることを学ぶ」という、一見相反するような二つのことを両立させることが効率のよい勉強となります。そのためのオリジナルカリキュラムが2)です。

2) プレメディカル東京における「数学」の指導

①体系的をもったテキスト

過去問の演習は必要です。しかし、最新過去問を並べたテキストには、実は穴があることもあります。例えば、行列の n 乗計算が入試で出題されるときは一通りの方法(2012聖マリアンナ医科大なら「回転行列の利用」)ですが、普段の勉強ではどの方法で(対角化、除法の利用、スペクトル分解、固有値からの等比型)誘導されても解けるようにしておかなければなりません。本校のテキストは、過去問とオリジナル問題が組み合わせており、体系的に学べるようになっています。

②発想の視点を学ぶ

「数列」「確率」「微積分」など単元別の学習は必要ですが、その後は「1文字を固定して他の文字を動かす」「必要条件から絞る」「順像法と逆像法」など、どの単元でも出てくる可能性のある「発想の視点」を身につけることが、入試突破においては非常に重要となります。実際、2012東京女子医科大では、直線の通過領域(順像法、逆像法の理解が求められます)の内容が出題されています。本校では、前半期の単元別の学習を踏まえ、後期後半からはこの高度な概念のマスターにも注力します。

数学の内容としては①②をベースに学び、さらに本校の復習テストと連動して、講師が個々の弱点を個別にフォローしていきます。現課程最後の2014入試への対策としての研究ノウハウも、当校には十分蓄積されています。また、問題の背景や応用事例(数学は医療現場にも生かされています)など、興味深い話題も提供していきます。医学部合格に直結するのみならず、興味の持てる数学の授業を展開していきます。



数学科主任講師

高谷 唯人
明治大学理工学部
建築学科卒業

化 学

Chemistry

1) 医学部入試問題における「化学」の傾向

理論化学と有機化学からの出題が中心です。無機化学は単独で出題されることが少なく、化学工業を題材とした電気分解や反応式を用いた計算のような、理論化学との融合パターンが大半です。特に理論化学は、気体反応の絡む化学平衡や、緩衝液のpH、結晶、鉛蓄電池、滴定といった、難度の高い問題がよく出題されています。一方、有機化学では、元素分析による分子式の決定から構造決定までのパターン問題が多く、半数以上が思考力を要求される問題です。また、慈恵医大、昭和大、埼玉医大、東京女子医大、東海大などでは、イオン交換樹脂、ゴムをはじめとした合成高分子化合物に関する、旧課程の選択分野であった「生活と物質」から出題されています。また、東邦大では、毎年必ず(昭和大、北里大、埼玉医大などでもかなりの頻度で出題)旧課程の選択分野であった「生命と物質」からの生物内容が出題されています。

今年度より新課程入試が始まりますが、「化学基礎」および「化学」全体を通しての学習内容にはほとんど差はありません。しかし、最近の医学部志向から、年々ボーダーラインが高くなってきており、また、旧課程学習者(いわゆるゆとり世代)と新課程学習者が争う来年の入試では、相当な激戦が予想されるということを付け加えておきます。

2) プレメディカル東京における「化学」の指導

受験勉強はスポーツと同様、まずは「基礎トレーニング＝必要な知識を反復して覚える」を積んだ後、「練習試合＝問題を解く」になります。しかし、ほとんどの受験生は、問題を解くのに必要な知識もままならないまま、練習問題ばかり解こうとしてしまうのです。このような勉強法では、まったく実力がつきません。問題をその場で理解するだけに終始し、他の問題への応用が利かないからです。これでは、模擬試験等の初見の問題(本番の試合)には歯が立たないでしょう。

このようなことを打破するため、授業では、入試問題を解くのに必要な凝縮された知識を、解説しながらしっかりと板書していきます。それらを頭に入れた(「基礎トレーニング」がある程度完了した)段階で、はじめて問題が解けるレベルになるからです。もちろん、授業内ですべてを頭に入れるのは不可能でしょうから、板書のノートを見ながらでも、授業時間内に演習もしっかりと行っていきます。

授業後も「基礎トレーニング」を継続して行い、とにかく知識を頭に入れることに徹します。その後「練習試合」になります。急がば回れ。それが結局は入試化学を制する近道になるのです。



化学科主任講師

上原 清孝
早稲田大学教育学部理学科
数学専修(現 教育学部数学科)卒業

生物

Biology

1) 医学部入試問題における「生物」の傾向

多くの医学部の入試問題は、私大入試から国公立の二次試験に至るまで、「知識問題」、「計算問題」、「実験考察」の三本立てになっています。

まず全体的に言えることは、「手堅く」「素早く」標準からやや難しいレベルまでの問題をミスなく解くことが、合格点を勝ち取る最低条件になります。

「知識問題」は、根本からの理解をしながら繰り返し身につけていくことが大切です。と同時に、医学部では、最先端の研究成果もすぐに出題される傾向があるので、医学部受験生の常識として、最新のSTAP細胞等の

ニュースにも注意が必要です。ノーベル賞を受賞した2008年のオワンクラゲのGFP(緑色蛍光タンパク質)、2012年のiPS細胞(発表は2006年)などは、発表の2年後には問題として出題されています。

「計算問題」と「実験考察問題」は、一見難解そうなものでも、問題文や与えられた情報(データ、グラフなど)を正しく整理して考えていくと、標準レベルの問題になるものがほとんどです。つまり、処理能力が求められているということです。

近年、志望者も増え、ますます合格ラインが上昇傾向にある医学部ですが、生物では、正しい知識を根本から理解し、覚えて、与えられた条件をシンプルに整理する力を身につけることで、乗り切ることができます。

2) プレメディカル東京における「生物」の指導

まず前期授業では、必要な知識の徹底理解と、質の良い問題を通してその知識の定着を進めていきます。それとともに、典型的なパターンの記述・計算問題の繰り返しにより、正しい考え方の土台作り、弱点を明確にしてからの、その補強を重点的に指導します。

遺伝・分子生物学など、よりパターンが決まっている記述・計算問題は、夏期講習で集中的に取り扱うことで、「解き慣れ」をつくっていきます。

後期授業では、前期・夏期でつけた力をより実戦的なものにするために、応用的かつ総合的な問題を演習しながら、素早く、正しく考えるコツを習得し、答案を作成する技術を高めていくとともに、自分がし易いミスを自覚し、意識してそのミスをしない体質をつくります。

少人数制の利点を生かしながら、その日の疑問はその日のうちに解決し、一人ひとりに対応した指導を進めていきます。



生物科主任講師

田尾 撰
千葉大学工学部
機能材料工学科卒業

物理

Physics

1) 医学部入試問題における「物理」の傾向

医学部入試といっても、特別難しい問題ができるわけではありません。むしろ、標準レベルの典型問題がよく見受けられます。旧帝大や慶応大のような難関大学を除けば、難問は少ないと言ってよいでしょう。まずは、力学・波動・電磁気・熱力学にいたるまで、絶対に穴をつくらないことです。近年、私立医学部入試の主流は、マークシート方式となり、記述は減らされる傾向にあります。その弊害として対処する問題量が増え、“処理速度”が重視されることになります。また、試験時間も短縮される傾向にあります。しかし、物理法則の表面的な理解で点数が取れるほど、甘いものではありません。受験生には、「問題を解く力」以上に、「高いレベルでの理解と説明能力」が求められることになりはなりません。

2) プレメディカル東京における「物理」の指導

物理を学ぶ上で最も重要なことは、物理法則や公式を覚えることではなく、結論にいたるまでのプロセスを理解していくことです。当校では、まずはしっかり「理論ノート作り」を行い、定期的に「公式チェックテスト」を実施します。それは、物理法則や公式の意味をとらえる良い訓練となります。

前期授業では、力学を中心に物理学の基本を身につけることに重点をおきます。夏期講習以降では、それをベースに電磁気、熱力学の修得を目指します。約6ヶ月じっくり時間をかけて一通りの基礎力を養成するというのが、プレメディカルの指導方針の大きな特徴です。後期授業に入ると、「復習テスト」を通して前期授業の確認を行い、定着度を高めて総合力を養っていきます。

一般に「物理は難しい」というイメージがありますが、決してそうではありません。物理を通して、自然界の仕組みの素晴らしさを体感できれば、これほど面白い学問はありません。受験勉強である前に、まずは物理を楽しむところから始めましょう。



物理科主任講師

奥田 克己
大阪大学大学院理学研究科
物理専攻前期博士課程修了

国語

Japanese

1) 医学部入試問題における「国語」の傾向

センター試験は新課程への移行期間にあり、依然として傾向変化には注意が必要です。特に長文化傾向への対策と「国語表現」に関する設問対策が必要になっています。言うまでもなくセンター試験は高校の定期テストとは全く異なる能力が問われており、だからこそ予備校では満点を狙うための講義が用意されています。

2) プレメディカル東京における「国語」の指導

当校では、文章を正確に読み、設問の要求するところを正確に考え、確実に正解を導く、その方法を解説し、演習を通して徹底的に身に付けてもらいます。国語の学習に勉強時間を割けない医学部受験生にとっては、最短の時間で最大の効果を上げるためのカリキュラムとなります。医学部進学専門校だからこそその「国語」の授業をぜひ体験してください。

小論文

Essay

1) 医学部入試問題における「小論文」の傾向

聖マリアンナ医科大学で「自身の経験」を交えた上での設問や「自ら考えた用例を示す」設問が追加され、東海大学で小論文が導入されるなど、今まで以上に意見論述対策が意味を持つようになっています。そもそも医学部入試で小論文が導入された意図がますます重要になっていると言えます。医学部小論文は、単に医療にまつわる知識の有無を試すものではなく、「理系の小論文」が書けるかを問うものでもなく、「医の心」を備えた人物・人格が評価される試験なのです。

2) プレメディカル東京における「小論文」の指導

医学部小論文で求められている「自分の意見」は、単なる知識や一般論ではなく、将来医師となる者としてふさわしい、高く明確な志から導き出される意見です。当校の授業は単なる小論文の答案作成指導ではなく、医師になる者としてふさわしい「医の心」を備えた人間性や、理想の医師像を考えさせることに主眼をおいています。小論文の授業は、ほとんどの大学で課される面接対策の一環であるとも言えます。自己を見つめ、社会を見つめ、将来を見据える、そのための訓練の場が当校の小論文の授業なのです。



国語科小論文主任講師

石井 励

同志社大学文学部文化学科
哲学及び倫理学専攻課程卒業

オリジナルテキスト & 各種テスト

オリジナルテキスト

どの教科のテキストも、国公立医学部・私立大学医学部の合格にしばって作成されたオリジナル教材です。ベテラン講師が過去問を徹底的に分析・研究し、オリジナル予想問題に加え、出題頻度の高い良問を厳選して作成しています。いかなる大学の問題にも対応できる下地は、本テキストだけの勉強で十分養われます。



各種テスト

1. 医療トピックスのテスト・小論文



火曜日から土曜日の朝9:00~9:10は、医学部入試の2次試験対策を目的とした、朝学習の時間に当てています。毎朝入試に出題される医療トピックスに関するコピーを配布し、10分間黙読してもらいます。わずかな時間ではありますが、この毎日の繰り返しが1年となると大変な分量になります。月曜日には、朝学習を通して覚えた医療用語や、その理解度を測るための小テストを実施します。小論文を書いてもらうケースもあります。

2. 2週間に1回の校内模試

授業の学習進度に合わせた、2週間に1回の復習テストです。各教科の2週間前の内容をもれなく確認することで、短期記憶から長期記憶への移行を図ります。その場しのぎの勉強を止め、「理解して覚える」ことを念頭に、長期記憶に根ざした本当の実力を付けていきます。

本テストの採点結果を通して、弱点を認識するとともに、不正答を繰り返さないよう、学習計画を見直します。



3. 全国統一模試



医学部志望の受験生の中で、自分の実力が志望校のどこに位置しているのかを、全国レベルで把握するために、最大年8回の当校全額負担による全国統一模試を受験してもらいます。

カリキュラム

プレメディカル東京では志望医大（医学部）合格に向けて、バランスよく無駄のない実践的カリキュラムを提供しています。生徒はこのカリキュラムに従って忠実に学習を進めることで、真の合格力を身につけることができます。医学部進学専門校だからこそ出来る万全のカリキュラムです。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	春期講習		前期授業		夏期講習		後期授業		冬期講習・直前講習			
	基礎学力確認		基礎学力定着&充実		弱点克服&ポイント演習		応用力練成&入試実戦力養成		入試問題演習&直前総チェック			
英 語	(1) 英文法・構文 「Itの構文」「基本5文型」「品詞」 「句と節」 (2) 英文解釈 「英文解釈の基礎知識」		(1) 英文法・構文 「文の種類」「時制」「助動詞」「受動態」「不定詞」 「動名詞」「分詞」「関係詞」「接続詞」「仮定法」 「比較」 (2) 英文解釈 「文法分野別読解」「構文把握読解」「内容一致問題・演習」「センター試験演習」「パラグラフフリーディング」		(1) 英文法・構文 「名詞」「代名詞」「形容詞」「副詞」「前置詞」 「動詞」「冠詞」「否定」「頻出イディオム」 (2) 英文解釈 「部分和訳演習」「内容要約演習」「入試問題演習（センター含む）」		(1) 英文法・構文 「強調・倒置・省略」「無生物主語構文」「話法」「英文法基礎事項総復習」 (2) 英文解釈 「速読演習」「精読演習」「過去問演習（センター含む）」		(1) 英文法・構文 「文法・語法問題対策」「整序問題対策」「正誤問題対策」「英文法総合問題演習」 (2) 英文解釈 「センター試験対策」「私立大学対策」「国公立2次対策」「医系長文対策」			
数 学	「2014入試問題から～数学の世界と入試の数学」 数学世界の広がり、大学入試問題（医学部を扱うが、他学部の良い問も扱う）にどのように表れているかを見て、一年間の羅針盤とする。		「単元別講義～数と式・二次関数・図形と方程式・三角関数・指数対数・極限・微分法・数列」		「単元別講義～論理と集合・場合の数と確率・行列・積分法・ベクトル」		「単元別講義～二次曲線・積分法的应用(面積・体積)」 「総合演習～発想の視点を学ぶ」 単元別の学習の後は、(・文字を固定して・文字を動かす) (順像法と逆像法) など、どの単元でも出てくるが、教科書に出ていない(発想の視点)を身につける。		「予想問題演習」過去問・予想問題は勿論のこと、(行列のn乗計算総整理) などの出題形式・誘導にも乗れるように解法の整理を行う。			
化 学	物質とは？ 濃度計算 化学反応式を用いた量の計算		(1) 理論化学 原子の構造、物質と濃度の計算、溶解度、化学反応の量的関係、熱化学、酸・塩基、酸化・還元 (2) 有機化学 元素分析、各グループごとの性質のまとめ+頻出分子式の異性体、構造決定問題		(1) 理論化学 化学結合と結晶、気体、希薄溶液の性質 (2) 有機化学 アミノ酸、タンパク質、糖類 (3) 生物化学 DNAとRNA、ATPとADP		(1) 理論化学 反応速度、化学平衡、電離平衡、塩の加水分解、緩衝液、溶解度 (2) 無機化学 ハロゲン、気体の製法と性質、金属元素、錯イオン、化学工業 (3) 有機化学 医薬品、アミノ酸・タンパク質・糖類の復習		大学別新作オリジナル予想問題			
生 物	センター試験を利用した生物Iの総確認		(1) 細胞(構造、組織、体細胞分裂) (2) 代謝(酵素、呼吸、光合成) (3) 発生(生殖、配偶子、減数分裂) (4) 刺激(興奮、神経、筋収縮) (5) 恒常性(循環、免疫、調節) (6) 植物(植物ホルモン、光周性)		(1) 遺伝(独立、連鎖、組換え、伴性遺伝) (2) 分子遺伝(DNA複製、遺伝子操作)		(1) 生態系(群集、群落) (2) 進化(生命、系統分類) (3) 融合問題の演習		(1) 知識の総整理、パターンの確認 (2) 入試問題演習			
物 理	物理学入門 基本法則のチェック		(1) 力学:運動方程式、エネルギー・運動量保存則 (2) 波動:音波、光波 (3) 電磁気:電気力学、コンデンサー、電気回路		(1) 力学:円運動、単振動、万有引力 (2) 前期の復習		(1) 熱力学:状態方程式、気体分子運動、熱力学法則 (2) 電磁気:電流と磁場、電磁誘導、交流 (3) 原子:光電効果、コンプトン効果		(1) 後期の復習 (2) 入試問題総合演習			
国 語 小 論	(1) 国語 漢文法習得・古典文法習得 (2) 小論文 医学部小論文実施意図の理解		(1) 国語 センター試験の基本問題演習 (読解に必要な基本的知識の理解を目指す) (2) 小論文 医師志望理由の作成と要約・意見論述練習 (理想的な医療の考察を中心に)		(1) 国語 センター試験実戦演習(典型問題に挑戦) (2) 小論文 意見論述練習(医療関連テーマに取り組む)		(1) 国語 センター試験実戦演習(難問に挑戦) (2) 小論文 意見論述練習(人文・社会関連テーマに取り組む)		(1) 国語 センター試験実戦演習(満点を取るための実戦演習) (2) 小論文 出願書類作成指導と志望校別対策演習			

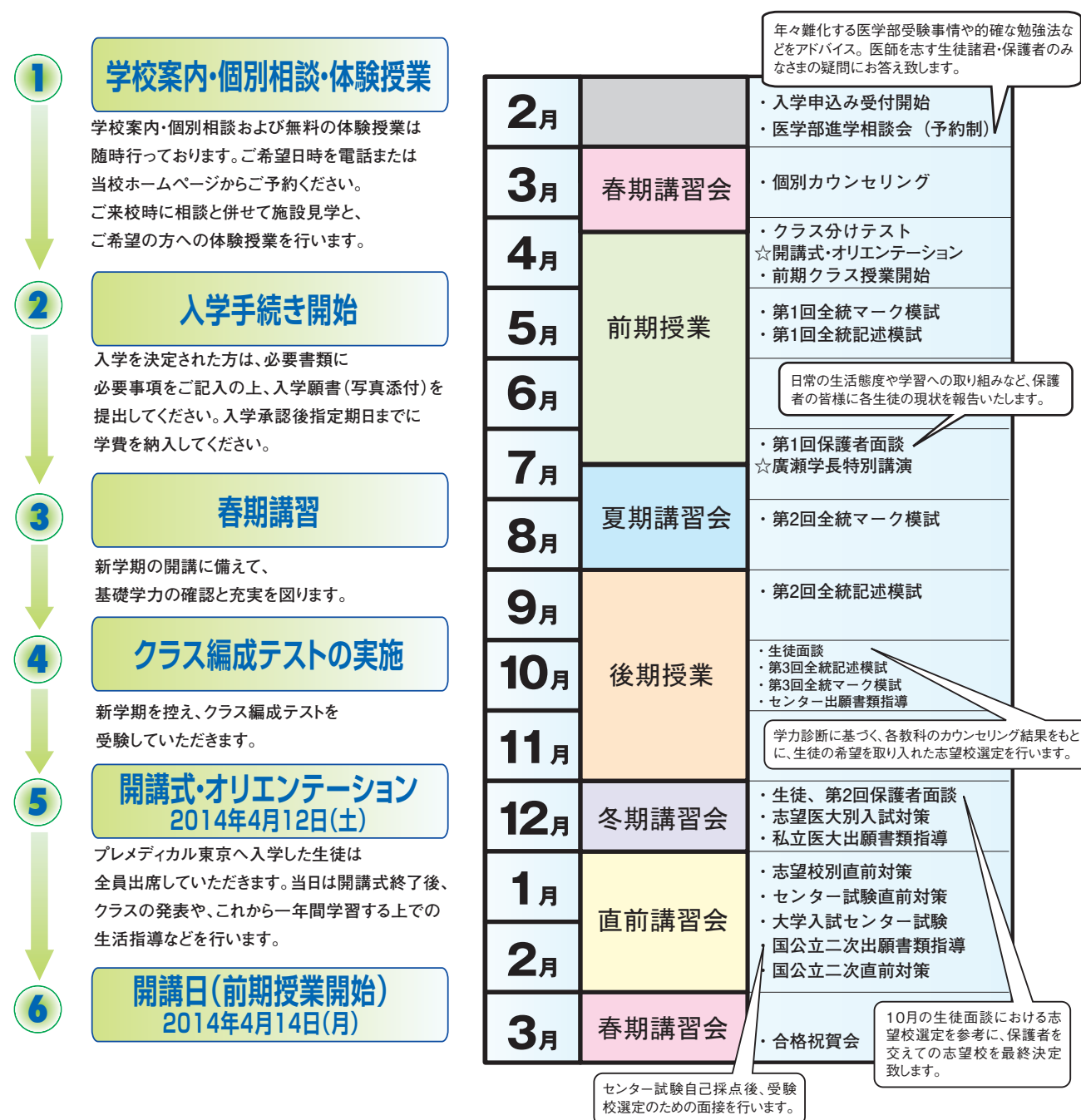
各期講習会（全生徒対象）

春期（3～4月）・夏期（7～8月）・冬期（12月）・入試直前（1月～2月）

※医学部進学コース生については、夏期・冬期講習がクラス授業としてあらかじめ組み込まれています。

入学までの流れと年間スケジュール

医学部進学コース・現役進学コース対象



※個別指導コース・編入学コースご希望の方は、随時受付・入学できます。無料体験授業も実施しておりますので、お気軽にお申し込みください。また、編入合格者の合格後の理数系の大学レベルの個別授業も行っております。

合格体験記

プレメディカル東京で受験勉強に専念し、厳しい入試を乗り越え、医学部合格を見事に果たした先輩たちの声を聞いてみましょう。

本科生T君、5校合格を手に！

僕は、大手のS予備校に2年、K予備校に2年通っていましたが、1校にも合格することができませんでした。最後の予備校のときは、学習意欲もわかず、精神的にも落ち込む日々が続きました。そのとき、受験ガイドで目にしたのがプレメディカル東京でした。1クラス5名以下の少人数制とともに、芝公園の近くという環境のよさにも惹かれました。授業は、一方的な講義形式でなく、いつでも疑問をぶつけることができるゼミ形式であったため、1コマ80分の授業でも大変短く感じられる程でした。復習テストも充実しており、また、年8回の外部模試を通して実戦力を十二分に磨くことができました。その結果、プレメディカル東京の1年で、東邦大、杏林大、久留米大、帝京大、藤田保健衛生大など5校の医学部正規合格を達成することができました(実際は7校合格)。大手で4年かけても達成できなかった医学部への道が、わずか1年で達成できたのです。最初からプレメディカル東京に来ていれば1年で合格できたと強く思いました。後輩の皆さんに自信を持って断言します。素晴らしい先生方による少人数個別型指導を信じて最後まで努力すれば、結果は必ず付いてくると。

M君、みごと現役合格達成！

当時、大手予備校のクラス授業に通っていた僕は、数学と化学が思うように伸びず、JMS誌で知ったプレメディカル東京の個別指導にお世話になることにしました。3年後期からという短い期間でしたが、先生方の根気強い指導で、合格レベルに達することができました。コピー機も自由に使い、過去問演習のときなど大変助かりました。また、時間がないときには、教務の方にもコピーを手伝っていただきました。授業以外にも、2次試験の小論文対策では、本番直前までFAXで何度も添削していただき、大変感謝しています。その他、願書の取り寄せなどで、入試間際の慌ただしい時も親切に対応していただきました。おかげで、兵庫医科大学と獨協医科大学に現役合格し、あこがれの関西の医学部に進学することができました。プレメディカル東京に通っていなければ、現役合格は難しかったと思います。

K君、特待合格！

僕は、高1の春からプレメディカル東京に通いはじめました。自宅からも近く、また駅の真上ということもあり、高校の帰りに立ち寄るには大変便利でした。僕は高3の半ばまで野球部に入っていたため、練習スケジュールがぎりぎりまで分からなかった時も、プレメディカル東京の教務の方々に親身に相談に乗っていただき、自分の都合に合わせて授業を設定することができました。特に定期試験の直前にかけては、対策授業という形で徹底的に鍛えていただきました。また、英単語や復習テストも空いている時間に自由に受けられ、モチベーションを高めることができました。3年間休まずプレメディカル東京に通い続けたことが自信となり、東京医科大学の特待生合格、東邦大、杏林大の合格に結び付いたのだと思います。

2010～14年 合格実績

防衛医大2名、千葉大(医)、群馬大(医)、横浜市大(医)3名、順天堂(医)、慈恵会医大3名、日医3名、昭和大(医)3名、杏林大(医)6名、東医5名、東邦大(医)3名、日本大(医)2名、北里大(医)4名、近畿大(医)、東京女子医大5名、岩手医大3名、金沢医大4名、聖マリ医大3名、埼玉医大5名、獨協医大2名、久留米大(医)、帝京大(医)、藤田保健衛生(医)、兵庫医大2名、産業医大 他(2月28日現在)

Requirements

募集要項

	コース名	入学金	教材費	年間授業料	合計
本科	※国公立医大・難関私立 医大コース(特待生)	250,000	250,000	1,656,000	2,156,000
	難関私立医大コース	250,000	250,000	3,024,000	3,524,000
	私立医大コース	250,000	250,000	3,024,000	3,524,000
現役	※国公立医大・難関私立 医大コース(特待生)	100,000	150,000	1,008,000	1,258,000
	難関私立医大コース	100,000	150,000	1,872,000	2,122,000
	私立医大コース	100,000	150,000	1,872,000	2,122,000
編入学	群馬大学・国公立医大コース	100,000	50,000	828,000	978,000
	東海大学医学部コース	100,000	50,000	552,000	702,000

- 上記学費に、別途消費税を申し受けます。
- 学費は、前期・後期に分割してお支払いすることもできます。地歴・公民、リスニングは選択授業となります。(別途申込)
- 前期学費は3月末までに、後期学費は8月末までに銀行振り込みにてお支払いください。
- 全期分(前期・後期)を一括払い、あるいは春期講習を履修する場合は、入学金が免除となります。
- 一旦納入された学費の返却はいたしません。ただし、高卒生で当校入学後に合格が判明した場合は、全額返還いたします。
- 上記授業料には、「夏期・冬期・直前講習」の授業料は含まれていません。講習授業料は、別途ご案内いたします。
- 年最大8回の校外全国模試は、当校費用全額負担で受験できます。
- ※国公立医大・難関私立医大コースは、入校テストにより、当校の定めた基準を満たされた場合、特待生となることができます。
- ※編入学コースは2名以上で成立します。

	週コマ数	入学金	教材費	年間授業料	合計
個別	2コマ	50,000	20,000	576,000	646,000
	4コマ	50,000	40,000	1,152,000	1,242,000
	6コマ	50,000	60,000	1,728,000	1,838,000

- 1教科2コマより受付いたします。
- 授業料は80分1コマ12,000円で、原則2コマ単位で申し受けます。別途消費税を申し受けます。
- 時間帯、カリキュラム等は、できるだけ本人のご希望に沿って調整させていただきます。
- 全期分(前期・後期)を一括払いする場合は、入学金の50,000円が免除になります。
- 一旦納入された学費の返却はいたしません。

学費納入方法

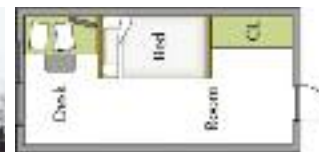
- 入学決定後に、当校より請求書を郵送させていただきます。
- 記載事項を確認の上、指定日までに銀行振込みにてお支払いください。
- ※前期・後期の分割払い及び年間授業料の10回分割払いも可能です。

Dormitory

提携寮

プレメディカル東京では、親元から離れて暮らす受験生のみなさんが勉強に専念し充実した受験生活を送れるよう、安心・安全な寮を用意しています。この他にもご紹介できますので、お気軽にご相談ください。

カレッジ東京門前仲町 (男子)



- 所在地** 東京メトロ東西線「門前仲町駅」徒歩8分、半蔵門線「水天宮前駅」徒歩10分、都営大江戸線「清澄白河駅」徒歩11分
- タイプ** 鉄筋コンクリート造7階建・個室(机、イス、ベッド、クローゼット、他)
光熱費込み
- 食 事** 朝夕2食付き(食費20,000円)
- 入館料** 礼金50,000円(2食付60,000円)
敷金50,000円(2食付60,000円)
- 保証料** 0円
- 賃 料** 50,000円(一律)

カレッジプラザ中野 (男子)



- 所在地** 東京メトロ東西線「落合駅」徒歩8分、JR中央線「東中野駅」徒歩12分
- タイプ** 鉄筋コンクリート造4階建・個室(エアコン、机、イス、ベッド、電話取付可、クローゼット、他)
光熱費・インターネット接続費込み
- 食 事** 朝夕2食付き
- 入館料** 礼金77,000円～、敷金0円
- 賃 料** 77,000円～(管理費12,000円/月)
火災保険料(8,500円/年)

両国学生マンション (男子)



- 所在地** 都営大江戸線「森下駅」徒歩7分
- タイプ** 鉄筋コンクリート造地上7階建・個室(エアコン、机、イス、ベッド、3点ユニット[風呂+洗面+トイレ]、2ドア式冷蔵庫、他)
インターネット接続費込み
- 食 事** 朝夕2食付き(選択制、入館時に決定)
- 入館料** 190,000円
- 保証料** 100,000円
- 賃 料** 【食事付き】91,800円～【食事なし】75,800円～
(管理費198,000円/年または17,500円/月)

是好女子ハイツ (女子)



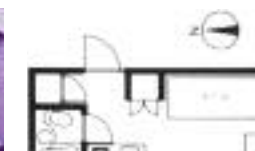
- 所在地** JR山手線「五反田駅」徒歩5分、都営浅草線「五反田駅」徒歩5分
- タイプ** 鉄筋コンクリート造9階建・個室(エアコン、キッチン、IH調理器、冷蔵庫、3点ユニット[風呂+洗面+トイレ]、机、イス、引き出し付ベッド、クローゼット、他)
光熱費・インターネット接続費込み
- 食 事** 食事なし
- 入館料** 0円
- 保証料** 0円
- 賃 料** 90,000円～(管理費0円)

ドミトリー門前仲町 (女子)



- 所在地** 都営大江戸線・東京メトロ東西線「門前仲町駅」徒歩4分
- タイプ** 鉄筋コンクリート造8階建・個室(エアコン、机、イス、ベッド、テレビ、IP専用電話機、2ドア式冷蔵庫、本棚、クローゼット、光ファイバー回線、他)
- 食 事** 朝夕2食付き
- 入館料** 180,000円～
- 保証料** 100,000円～
- 賃 料** 81,400円～(管理費220,000円/年)

ドミトリー九段 (女子)



- 所在地** 東京メトロ有楽町線「市ヶ谷駅」徒歩5分、都営新宿線「市ヶ谷駅」徒歩5分、JR総武線「市ヶ谷駅」徒歩5分
- タイプ** 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建・個室(エアコン、3点ユニット[風呂+洗面+トイレ]、机、イス、ベッド、電話機取付済、クローゼット、食器棚、他)
- 食 事** 選択制(朝食なし。夕食申込制) 1食620円
- 入館料** 125,000円
- 保証料** 400,000円
- 賃 料** 65,000円～(食費含まず)(管理費24,000円/月)

学習に最適な環境と通学に便利なアクセス 東京タワーのお膝元の文教地区で学ぶ



古くから武家屋敷町であった名残で近隣には神社仏閣や大使館が数多く点在し、国際色豊かで洗練された土地柄です。付近には慶應義塾大学や慈恵会医科大学などの教育機関や病院、公共施設が多くあり、学業の妨げになる繁華街めいた雰囲気とは無縁の文教地区です。校舎は、地下鉄大江戸線赤羽橋駅の真上にあり、通学には大変便利です。



増上寺



芝公園



三井クラブ



イタリア大使館



麻布郵便局



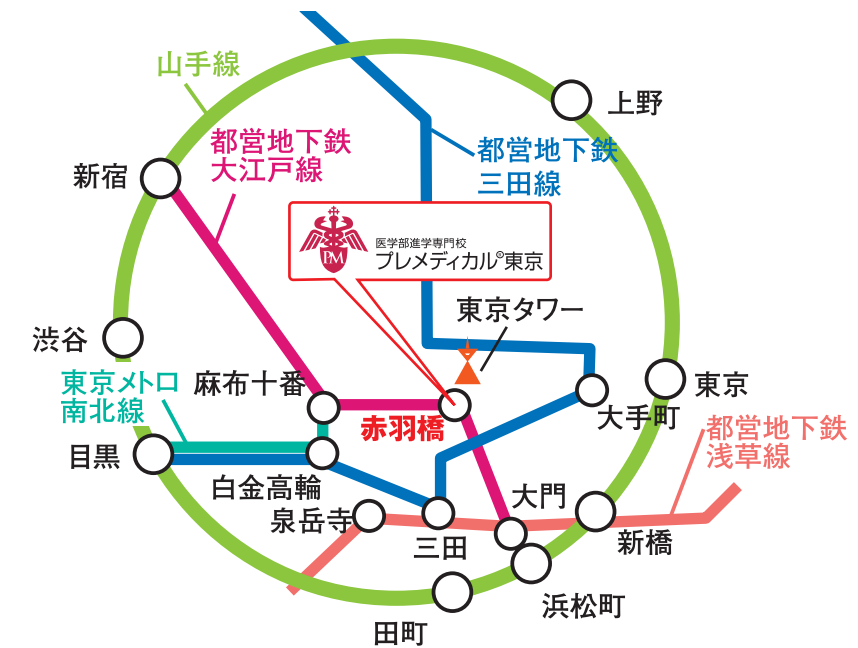
ロシア大使館



慶應義塾大学



東京タワー



Area Map プレメディカル東京周辺



● お問い合わせ



**PREMEDICAL®
TOKYO**

医学部進学
専門校 プレメディカル®東京

〒106-0044 東京都港区東麻布1-28-13 日通商事麻布ビル

医師つくろお
0120-142960
10:00~19:00 (平日・土曜)

● HP <http://www.premedical.co.jp>
● e-mail adm@premedical.co.jp

建学理念

近年の少子化に伴い、大学を選び好みしなければほぼ誰もが進学できる「大学全入時代」が来ています。しかし、医学部に関してみると状況は正反対です。昨今の職業安定指向を反映し、社会的地位のある専門技術者としての医師資格を身につけたいという人々が増加し、競争の激化が年々高まっているからです。つまり自分の将来を決するに当たり、医師という職業を、安定した生活を得るための糧として選ぶ人が増えており、国公立・私立大学ともに医学部の入試レベルを難関化させています。すなわち、医学部進学がより難しくなる中においては、効率よく、かつ集中して学業に励まなければ、医学への道を拓くには困難な状況になってきているといえます。

しかし、勉学に専念するあまり、医師を志す者がまず持つべき「医の心」をおろそかにしてしまったとしたら、患者はもとより日本の医療界、ひいては国民全体にとって大きなマイナスです。

私たち菊医会／ジャパン・メディカル・ソサエティ（JMS）は、全国のエグゼクティブ医師を対象とした月刊誌『JMS』などを通し、医療界・医学界に精通してきた29年の実績を基盤に、独自のメソッドによる医師育成のための研鑽の場として、医学部進学専門校PREMEDICAL® TOKYO（プレメディカル®東京）を2006年に設立するという新事業に着手しました。

当校は、この新時代にふさわしい医師育成の基盤創りを目指すべく、JMSが長年培った各医大（医学部）との密接な関係を基に、現在の日本医療界の中心を担う医師会・病院会等を代表される先生方からご支持を受け、「医の心」を理解し実践できる適性を備えた、より良い医師の育成と医療承継が最良の形で的確に行われるための、医学部合格に向けた最高水準の教育を提供しております。

選り抜かれた一流講師陣と個別型少人数クラス制による少数精鋭教育で成果を高め、卓越した医師（医学生）となるための確実な基盤を築くことが、本校の努めであると考えています。

経営母体

プレメディカル東京は、経営母体である株式会社菊医会／ジャパン・メディカル・ソサエティ（旧皇族・華族の方々を中心とした霞会館・常磐会と有力医師団体に協力いただき、1986年9月9日に設立されました）の設立20周年記念事業として発足しました。

菊医会／JMSは現在、全国で病医院进行を運営する10万人以上の医師の協賛で運営されています。卓越した国際感覚を持ち、なおかつ日本の文化と伝統を継承しながら、新たな時代を担うべき人材の交流と研鑽の機会を設け、親睦の和を広げ、健康で豊かな次世代の繁栄に資するための各種事業に、積極的に取り組んでいます。医業経営・承継のためのコンサルティング・サービスに加え、全国から選ばれた医師とその親族を対象としたブライダル事業等の福利厚生事業と、会員相互の情報交換や研究・研鑽の手段として、医師会、医学会、病院会、厚生労働省等の協力で月刊誌『JMS』の出版事業などをおこなっています。また、時流に即したテーマで、厚生労働省、日本医師会等の後援による公的レベルのシンポジウムを適時開催しています。



月刊JMS 2014年1月号／通巻205号

理事長挨拶

医学部受験において、将来「医師」になるための目的意識を新たな視点から自分の立場で考えてみたい。ただ単に医師家庭で育ったので医師を志向する等という漠然とした気持ちでなく、「医師は人の生命に関わる責任ある尊い職務である」ということを自覚することが何より重要である。

一方、将来それを達成できるのは自分であるという気概と誇りが、より一層、医学部合格に向け自分を鼓舞し邁進させてくれる。

また、医師とは医療従事者とのチームにおける協調と指導性が求められ、究極的には生命にかかわる「個」としての意思決定をしなければならない。それを自信をもって適正に助長してくれるのは患者の立場に立った「医の心」である。

これをより早く認識することが、医学部進学に向けた大きなモチベーションとなって、より確実に成果を得ることにつながるのだ。



理事長 野村 元久

株式会社菊医会／ジャパン・メディカル・ソサエティ代表取締役社長

発起人



井形 昭弘
名古屋学芸大学学長
元鹿児島大学学長



武田 隆男
日本病院会前副会長
武田病院グループ会長



橋本 葉子
日本女医会前会長
東京女子医科大学名誉教授



福井 光壽
元東京都医師会会長



プレメディカル®東京マークの由来

プレメディカル東京のロゴマークは、ギリシャ神話の医神アスクレピオスの杖をモチーフにしています。アスクレピオスは優れた医術で死や疫病から人間を救った医学の神とされています。アスクレピオスが携えた蛇の巻きついた杖「カドゥケウス」は、医学の象徴として世界中に知られており、世界医師会、WHO（世界保健機関）をはじめ、多くの医療機関、医科大学等で意匠として用いられています。プレメディカル東京は、医神アスクレピオスの理想や精神を受け継ぎ、医師、医療機関の協力を得て、医療界に羽ばたく次代の医師育成に努めています。

医学部進学専門校

プレメディカル®東京

〒106-0044 東京都港区東麻布1-28-13日通商事麻布ビル
TEL:03-5573-8511（代表）FAX:03-5573-8512

医師つくろお

0120-142960

<http://www.premedical.co.jp>

e-mail: adm@premedical.co.jp